第５学年 外国語科学習指導案

令和３年２月５日（金）　第６校時

第５学年　１組３２名

２組３２名

３組３２名

指導者　永野健一

佐藤拡大

荒井千穂

（１）単元名

「Mt. Fuji is beautiful.」日本のここ、おすすめ！

（２）単元の目標

〇行きたい場所、こと、ものなどと、その理由を紹介している。

〇行きたい場所を紹介するポスターを作成し、ポスターセッションをしている。

評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| ・慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて、伝えたいことを英語で話したり書いたりすることができる。  ・ゆっくり、はっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、聞き取ることができる。 | ・自分が伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて英語で発表することができる。  ・既習した語彙や文、表現を用いて、文章を考えることができる。 | ・自分が伝えたいことについて、主体的に友だちとコミュニケーションをとったり、発表したりすることができる。  ・伝えたいことを、よりよくしようと積極的に発表練習をすることができる。 |

（３）本単元の学習と５年生の児童

　　本単元は、Lesson７で学習した「行きたい場所」と「そこでしたいこと」を伝える活動を発展させ、皆の前で発表する「Presentation」を行う単元である。まずは、個人で自分の伝えたいことを伝え、次いでグループごとにポスターを作成してポスターセッションを行うという２段構成を組んだ。

I want to go to....や、I want to see..../eat....など、既習事項をあらためて練習する場面が多くあり、児童にとっては取り組みやすい活動となっている。また、ペアでの活動、グループでの活動を多く設定し、教え合いや学び合い、ペアでの練習を通して、発表への自信を増していく姿をイメージしている。

　　本校では英語についてのアンケートを６月に行った。５年生では、「外国語の学習が好きですか」「友だちや先生（ALT）などと、あいさつしたり会話したりするのは、楽しいですか」という質問に対して、肯定的な回答をした児童が約８割いた。一方、「英語を使ってみんなの前で発表するのは得意ですか。」という質問に対しては、肯定的な回答が３割にとどまった。

外国語の学習自体は好き、限られた相手と１対１で話すことは楽しいと感じている児童が、みんなの前での発表となると、とたんに躊躇してしまう。児童は発表に対して高いハードルを感じ、自信をもてないでいることがうかがえる。

この問題を解決するためには、発表に必要な単語や文をたくさん発しながら慣れていくこと、２人→４人→クラスと段階をふみながら発表の練習をすることで慣れていくことが自信につながっていくと考えた。

特に２人や４人での発表練習は毎回の授業の中に設定した。また、その日の発表練習に使う英単語や英熟語を「BINGO」や「DON!JANKEN」などのゲームを通して練習することで、積極的に英語を発し、慣れ親しんでいくことをめざした。

さらに、I can....や、I want to go to....などの文を学習する際には、それが使われる状況を身近な場面で想定して提示することで、児童がイメージしやすく、取り組みやすく、そして「使ってみよう」という意欲をもちやすくなるように考慮した。

以上のような取組を続け、再度１１月にアンケートを行った。「英語を使ってみんなの前で発表するのは得意ですか。」という質問に対して肯定的な回答をした児童は４割近くになり、児童が英語に慣れ親しみ、発表への自信が少しずつ身に付いている。

　　本単元では、一度学習している熟語や文を用いて発表するので、やりやすさや「できそうだ」「できる」という思いをもって臨む姿が期待できる。また、本単元は５年生のまとめの学習にもあたる。「最後にいい発表がしたい。」という思いも追い風にしながら、児童がさらに自信を深めていけることをめざしたい。

（４）本単元における研究主題に迫る手だて

①積極的にコミュニケーションを図るための手だて

a.行きたい場所の魅力を伝える活動

行きたい場所の魅力を伝えるという設定にすることで、児童が目的意識をもって、主体的に学習に取り組めるようにした。必ず一人一人に出番があるので、活動に必然性が生まれ、述べる英語のセンテンスや場面の演出などについての話し合いが、一層活発になり、積極的なコミュニケーションを図ることができると考えた。また、児童が安心して英語で言えるように、パソコンで調べたり、練習の時間を多く設定したりする。

b.活動内容や学習形態の工夫

歌やクイズ、ゲームなどの活動内容や、個別活動やペア活動、グループ活動などの活動形態を工夫する。

②外国語に慣れ親しむための手だて

a.インタビューゲームの活用

インタビューゲームを通して、本単元で扱う基本的な表現や語彙を楽しみながら繰り返し扱い、慣れ親しませる。インタビューゲームを行わせることで、児童の意欲を喚起していく。

b.歌の活用

年間を通して外国語の授業の冒頭で歌唱する曲を、児童と話し合いながら決めてきた。児童が「歌いたい」と思う曲を導入で歌うことで、授業が活気づき、その後の活動にも意欲的に取り組むようになっている。選曲の際には、児童にとって歌いやすいテンポかどうか、既習のワードやセンテンスがあるかどうかなども加味しながら選ぶようにした。

c.スパイラルに学習を行う工夫

語彙を定着させるために、機械的な繰り返しではなく、同じ項目を単元全体の学習指導計画を通して繰り返し取り上げる。

③評価の工夫

a.行動観察

意欲的に英語を使おうとする態度や姿勢、ジェスチャーや表情などを使い自分の気持ちを進んで伝えようとしている点を評価する。また、単元の各時間のどこかで児童一人一人の発表の場を設定したり、パフォーマンステストをしたりすることで、学習に対する評価を確かに行っていく。

b.リフレクションシートの活用

これまで学習で使用したリフレクションシートとグリーティングシートは、ファイリングされた１冊の冊子になっており、児童はいつでも既習の内容を振り返ることができるようになっている。本単元においても、リフレクションシートを活用し、児童の意欲的な態度や姿勢を見取ったり、本時の気付きをまとめたりすることで、評価をする。

（５）学習計画と評価計画［全８時間扱い／本時は４時間目］

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時 | 学習活動　《新出の表現》 | 評価規準【評価方法】 |
| １ | 自分が紹介したい、行きたい場所を決める。  《Where do you want to go?/ I want to go to 〇〇. 》 | ・前時で学習したことを基に友だちとコミュニケーションをすることができる。【行動観察・ワークシート】 |
| ２ | 自分が行きたい場所のことや、行きたい場所で食べたいもののこと、したいことなどについて調べる。 | ・自分が行きたい場所やしたいことなどを伝えるために、どんな語彙や表現が適切かを考えている。【ワークシート】 |
| ３ | どのように英語で伝えるかについて考え、発表原稿を作る。 | ・既習した語彙や文、表現を用いて、文章を考えることができる。【ワークシート】  ・自分の伝えたいことを、慣れ親しんだ簡単な表現を用いて文章を書くことができる。【ワークシート】 |
| ４  （本時） | 行きたい場所やしたいこと、食べたいものなどについて発表する。 | ・これまで学習した表現を用いて、友だちに行きたい場所や、その場所で食べたいものなどについて主体的に発表することができる。【行動観察】  ・友だちが話したことを、聞き取ることができる。【行動観察・ワークシート】 |
| ５ | グループで行きたい場所を決める。 | ・これまでに学習した単語やセンテンスを用いて、発表原稿を作ることができる。【行動観察・ワークシート】 |
| ６ | グループでポスターを作ったり、発表原稿を作成したりする。 | ・自分たちの伝えたいことを、慣れ親しんだ簡単な表現を用いて原稿を書くことができる。【ワークシート】 |
| ７ | グループで発表練習を行う。 | ・練習を通して、内容や伝え方をよりよくしようとしている。【行動観察・ワークシート】 |
| ８ | グループで、行きたい場所について、食べてみたいものや見てみたいものを紹介しながら発表する。 | ・友だちに自分たちが考えたことなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて発表することができる。【行動観察】 |

（６）本時の展開（４／８時）

①本時の目標

〇国内外の行きたい場所のみりょくを紹介しよう。

②本時にめざす児童の姿とそのための具体的な手だて

・児童が抵抗なく発表することができるように発表原稿を作成し、また、ポスターを用いることで発表する意欲をもてるようにした。

③本時の展開（２組）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | 〇学習活動 | ・指導上の留意点  ☆評価  【】評価方法  ●手だて |
| Greeting  (２分) | 〇教師と児童でグリーティングをする。  T: Hello.  C: Hello.  T: How are you?  C: I’m　fine, and you?  T: I’m happy.  How’s the weather?  C: It’s sunny.  T: What day is it?  C: It’s Thursday.  T: What’s the date today?  C: It’s February 5th.  T：Good. | ●手だて①b  ・前時までに児童に発表原稿（ワークシート①）を書かせておく。 |
| Chant  （２分） | 〇「country road」を歌う。 | ●手だて②b |
| Today’s goal  （１分） | 〇今日のめあてを確認する。 | Today’s goal: 行ってみたい都道府県のみりょくをみんなに紹介しよう。 |
| Review  （２分） | 〇センテンスの復習を行う。  T: Where do you want to go? C: 繰り返す  T: I want to go to Italy. C: 繰り返す  T: What do you want to do? C: 繰り返す  T: I want to eat pizza. C: 繰り返す  T: I want to buy chocolate. C: 繰り返す | ●手だて②c  ・２回（T発音C繰り返し×２）→１回（T発音C繰り返し×１）→０回（Cのみ発音）の方法で発音練習をする。  ・繰り返しの回数は、学級の実態に合わせて調整し、テンポよく進めるようにする。 |
| Small talk  （３分） | 〇隣の友だちと発表の練習を行う。  （例）  A：I want to go to Hokkaido.　B: Good.  A: I want to eat fresh seafood.　B: Me, too.  A: I want to visit Asahiyama Zoo.　B: Wow.  A: I want to buy butter cookies.　B: OK.  A: Thank you.　B: Thank you. | ●手だて①b  ・友だちの発表を聞いている時に、「I see.」「good.」などのリアクションをとるように声かけをする。 |
| Presentation  （３０分） | （例）  A(発表児童): Hello.  B(学級全員): Hello.  A：I want to go to Hokkaido.  A: I want to eat fresh seafood.  A: I want to visit Asahiyama Zoo.  A: I want to buy butter cookies.  A: Thank you.  〇発表を聞いている児童は、発表で良かったことをワークシートに〇を付ける。 | ●手だて①a③a  ・発表する児童が発表しやすいように、周りの児童が簡単なリアクションをしてもよいことを伝える。  ☆これまで学習した表現を用いて、友だちに行きたい場所や、その場所で食べたいものなどについて主体的に発表することができる。【行動観察】  ☆友だちが話したことを、聞き取ることができる。【行動観察・ワークシート②】 |
| Today’s review  (２分) | 〇これまで学習したセンテンスについて復習を行う。  （・Where do you want to 〇〇？  -I want to go to 〇〇. -） | ・既習表現の定着を図る。 |
| Reflection  （３分） | ○授業の振り返りをリフレクションシートに書く。 | ●手だて③b |

③本時の展開（１組）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | 〇学習活動 | ・指導上の留意点  ☆評価  【】評価方法  ●手だて |
| Greeting  (２分) | 〇教師と児童でグリーティングをする。  T: Hello.  C: Hello.  T: How are you?  C: I’m　fine, and you?  T: I’m happy.  How’s the weather?  C: It’s sunny.  T: What day is it?  C: It’s Thursday.  T: What’s the date today?  C: It’s February 5th.  T：Good. | ●手だて①b  ・前時までに児童に発表原稿（ワークシート①）を書かせておく。 |
| Chant  （２分） | ○「Runaway Baby」を歌う。 | ●手だて②b |
| Today’s goal  （1分） | 〇今日のめあてを確認する。 | Today’s goal: 行ってみたい国のみりょくを紹介しよう。 |
| Review  （２分) | 〇センテンスの復習を行う。  T: Where do you want to go? C: 繰り返す  T: I want to go to Italy. C: 繰り返す  T: What do you want to do? C: 繰り返す  T: I want to eat pizza. C: 繰り返す  T: I want to buy chocolate. C: 繰り返す | ●手だて②c  ・２回（T発音C繰り返し×２）→１回（T発音C繰り返し×１）→０回（Cのみ発音）の方法で発音練習をする。  ・繰り返しの回数は、学級の実態に合わせて調整し、テンポよく進めるようにする。 |
| Small talk  （3分） | 〇隣の人と発表の練習を行う。  （例）  A：I want to go to Italy.　B: Good.  A: I want to eat pizza.　　B: Me, too.  A: I want to see leaning tower of Pisa.  B: Wow.  A: I want to buy chocolate.  A: Thank you.　 B: Thank you. | ●手だて①b  ・隣の子の発表を聞いている時に、「I see.」「good.」などのリアクションを行うように声かけを行う。 |
| Presentation  （３０分） | （例）  A: Hello.  B: Hello.  A：I want to go to Italy.  A: I want to eat pizza.  A: I want to see leaning tower of Pisa.  A: I want to buy chocolate.  A: Thank you.  〇発表を聞いている児童は、発表で良かったことをワークシートに〇を付ける。 | ●手だて①a③a  ・発表する児童が発表しやすいように、周りの児童が簡単なリアクションをしても良いことを伝える。  ☆これまで学習した表現を用いて、友だちに行きたい場所や、その場所で食べたいものなどについて主体的に発表することができる。【行動観察】  ☆友だちが話したことを、聞き取ることができる。【行動観察・ワークシート②】 |
| Today’s review  (２分) | 〇これまで学習したセンテンスについて復習を行う。  （・Where do you want to 〇〇？  -I want to go to 〇〇. -） | ・既習表現の定着を図る。 |
| Reflection  （３分） | ○授業の振り返りをリフレクションシートに書く。 | ●手だて③b |

③本時の展開（３組）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 過程 | 〇学習活動 | ・指導上の留意点  ☆評価  【】評価方法  ●手だて |
| Greeting  (２分) | 〇教師と児童でグリーティングをする。  T: Hello.  C: Hello.  T: How are you?  C: I’m　fine, and you?  T: I’m happy.  T: How’s the weather?  C: It’s sunny.  T: What day is it?  C: It’s Thursday.  T: What’s the date today?  C: It’s February 5th.  T：Good. | ●手だて①b  ・前時までに、児童に発表原稿（ワークシート①）を書かせておく。 |
| Chant  （２分） | ○「We are the world.」を歌う。 | ●手だて②b |
| Today’s goal  （１分） | 〇今日のめあてを確認する。  Today’s goal: 行ってみたい関東地方のみりょくをみんなに紹介しよう。 |  |
| Review  （２分) | 〇センテンスの復習を行う。  T: Where do you want to go? C: 繰り返す  T: I want to go to Tokyo. C: 繰り返す  T: What do you want to do? C: 繰り返す  T: I want to eat Monja. C: 繰り返す  T: I want to buy Gyoza C: 繰り返す | ●手だて②c  ・２回（T発音C繰り返し×２）→１回（T発音C繰り返し×１）→０回（Cのみ発音）の方法で発音練習をする。  ・繰り返しの回数は、学級の実態に合わせて調整し、テンポよく進めるようにする。 |
| Small talk  （３分） | 〇隣の人と発表の練習を行う。  （例）  A：I want to go to Mt. Takao.　B: Good.  A: I want to go hiking.　B: Me, too.  A: I want to eat Tororo soba.　B: Wow.  A: I want to buy chocolate.　B: OK.  A: Thank you.　B: Thank you. | ●手だて①b  ・発表を聞いている子はよかったことと改善点を伝えるように促す。 |
| Presentation  （３０分） | （例）  A: Hello.　B: Hello.  A：I want to go to Mt. Takao.  A: I want to go hiking.  A: I want to eat Tororo soba.  A: I want to buy chocolate.  A: Thank you.  〇発表を聞いている児童は、発表で良かったことをワークシートに〇を付ける。 | ●手だて①a③a  ・発表する児童が発表しやすいように、周りの児童がリアクションをするように促す。  ☆これまで学習した表現を用いて、友だちに行きたい場所や、その場所で食べたいものなどについて主体的に発表することができる。【行動観察】  ☆友だちが話したことを、聞き取ることができる。【行動観察・ワークシート②】 |
| Today’s review  (２分) | 〇これまで学習したセンテンスについて復習を行う。  （・Where do you want to 〇〇？  -I want to go to 〇〇. -） | ・既習表現の定着を図る。 |
| Reflection  （３分） | ○授業の振り返りをリフレクションシートに書く。 | ●手だて③b |

（７）その他

①資料

【ワークシート①】　　　　　　　　　　　【ワークシート②】

